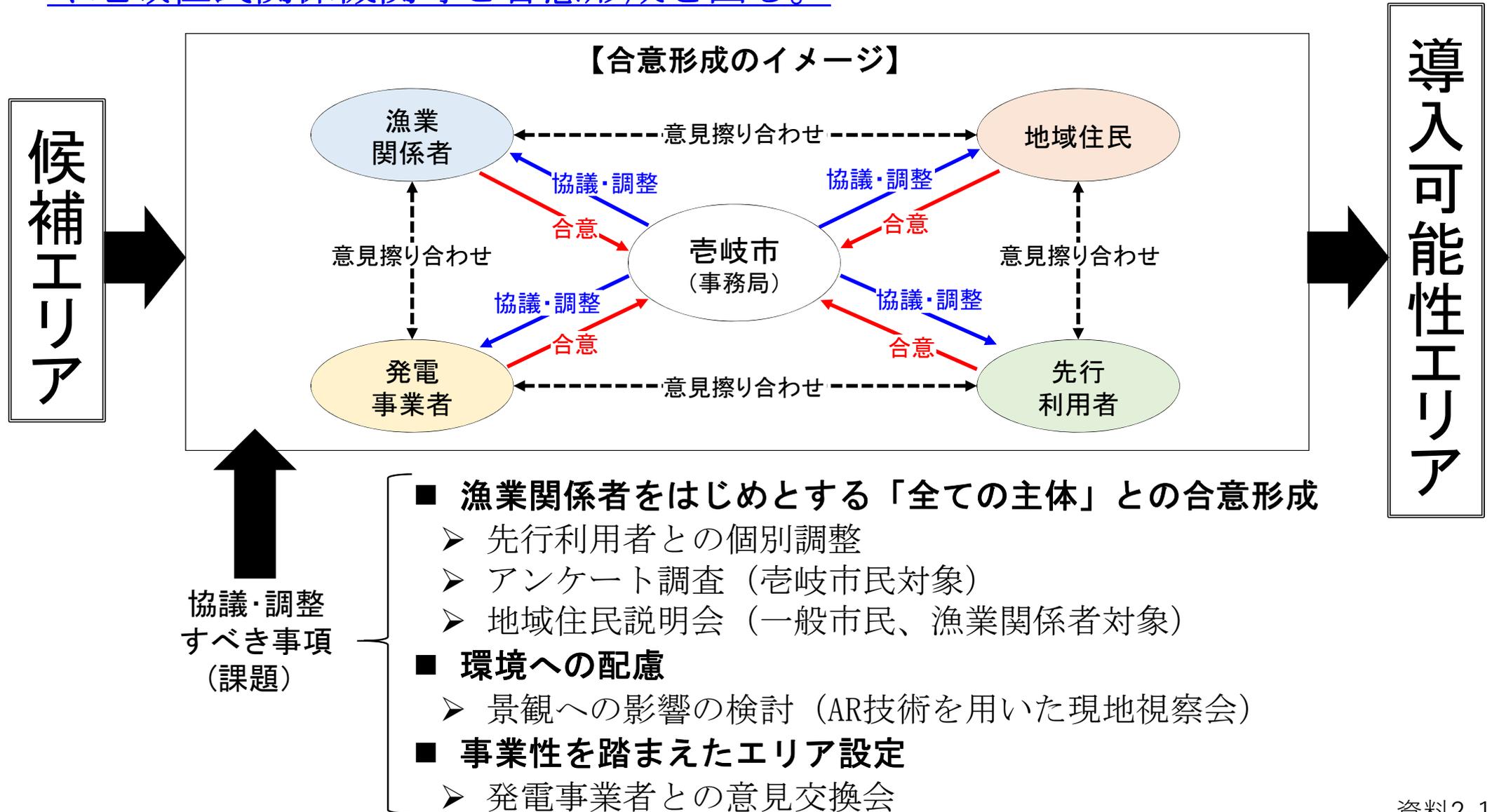
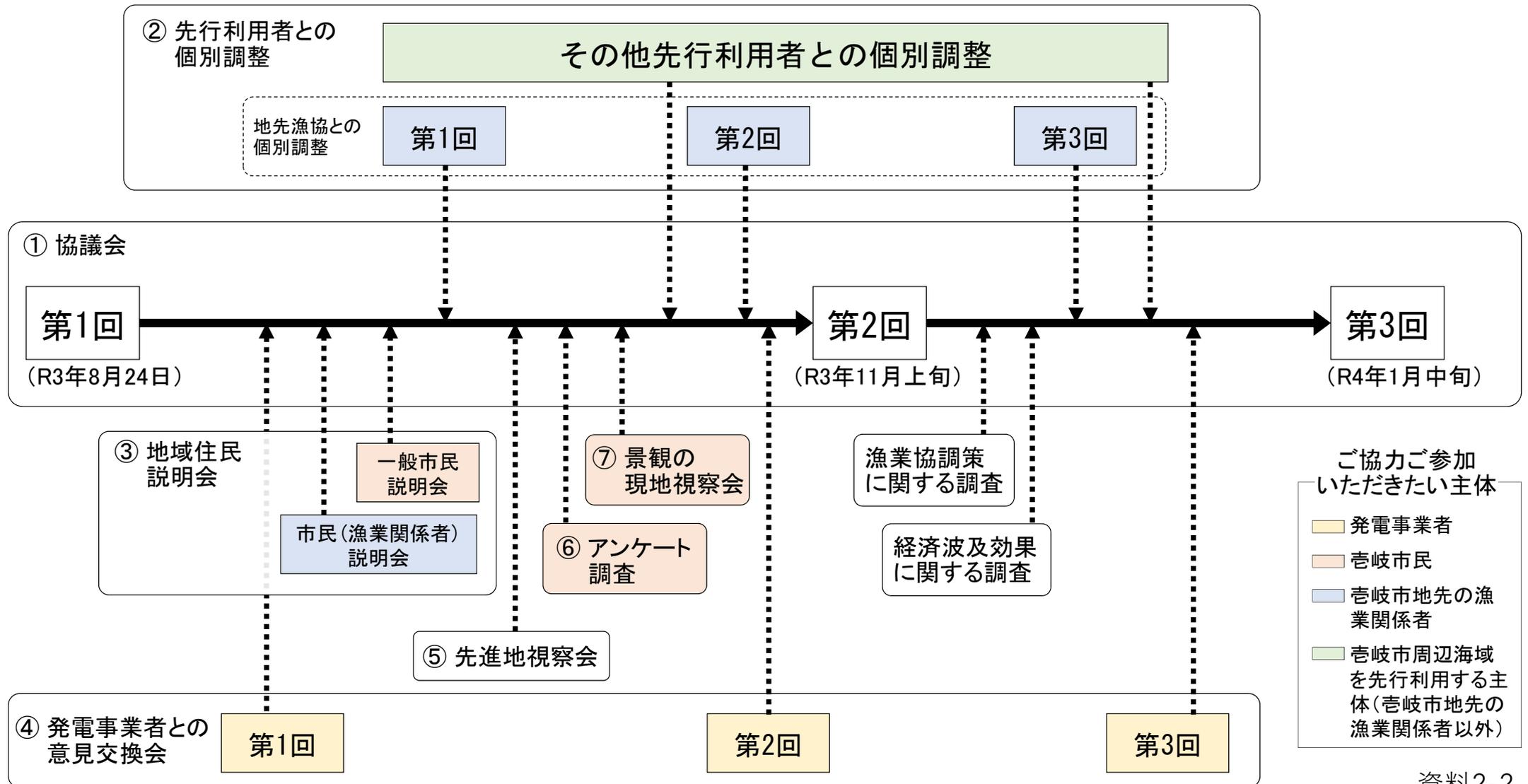


- 県事業で明らかになった課題の解決を図りつつ、「導入可能性エリア」（再エネ海域利用法における「促進区域」を想定した区域）の抽出に向け先行利用者や地域住民関係機関等と合意形成を図る。



# 今後の予定について

- 協議会は全3回開催予定。
- 本事業における検討や調整の結果は、全て協議会に諮り、承認を得た上で次工程へと進めていく。



## ① 協議会

### 【ご参加いただきたい主体】

協議会構成員

### 【趣旨・目的】

壱岐市周辺海域での洋上風力発電の導入可能性について、各主体の意見のすり合わせ、意思決定、判断を行う。

回数	開催時期	主な議題
第1回	令和3年8月24日	<ul style="list-style-type: none"><li>協議会設置目的、経緯の確認</li><li>今後の予定等の確認</li></ul>
第2回	令和3年11月上旬	<ul style="list-style-type: none"><li>導入可能性エリア（案）の検討</li><li>問題点等の抽出</li></ul>
第3回	令和4年1月中旬	<ul style="list-style-type: none"><li>導入可能性エリア（修正案）の確認</li><li>事業実施に向けた課題、条件（地域貢献策、漁業協調）の検討</li></ul>

## ② 先行利用者との個別調整

### 【趣旨・目的】

当該エリアでの事業実施の可否、実施のための条件等を個別に把握する。

ご協力いただきたい主体	開催時期	調整内容
漁業協同組合（漁業関係者）	令和3年9月～12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 壱岐市内に拠点を置く5つの漁業協同組合及び漁業関係者と「導入可能性エリア（仮称）」の位置、規模について調整する。</li> <li>• 洋上風力発電事業を実施した際の、発電事業者や地方自治体等に対しての要望、漁業協調等の意見を聴取する。</li> <li>• 壱岐市以外に拠点を置く漁業者に対しても、本事業に関する説明等を行う。</li> </ul>
運航事業者	令和3年9月～12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 壱岐市への定期航路を運航している運航事業者に対して、「導入可能性エリア（仮称）」の位置、規模、航路との離隔距離等の調整を行う</li> </ul>
海底ケーブル等設置事業者	令和3年9月～12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 壱岐市周辺海域に海底ケーブル等の敷設を実施（又は計画）している事業者に対して、「導入可能性エリア（仮称）」の位置、規模、ケーブルとの離隔距離等の調整を行う。</li> </ul>
その他先行利用者	令和3年9月～12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 上記以外にも国の機関や民間事業者等利害関係を有する先行利用者を的確に把握し、意見聴取等を行う。</li> </ul>

## ③ 地域住民説明会

### 【ご参加いただきたい主体】

地域住民（一般市民、漁業関係者）

### 【趣旨・目的】

洋上風力発電に対する理解を深めていただいた上で、合意形成を図る。

対象	開催時期	意見交換の内容
一般市民	令和3年9月中旬以降	壱岐市の抱える課題（電力需要等）や市の方針、洋上風力発電事業に対する理解を深めていただくことを目的に、全市民を対象に1回開催する。 なお、説明会の状況はインターネット等で配信できるよう撮影を行う。
漁業関係者	令和3年9月上旬以降	壱岐市の抱える課題（電力需要等）や市の方針、洋上風力発電事業に対する理解を深めていただくことを目的に、洋上風力発電事業による影響が最も大きいと想定される漁業者を対象に、漁協単位で開催する。

## ④ 発電事業者との意見交換会

【ご参加・ご協力いただきたい主体】

発電事業者

【趣旨・目的】

- 事業者が壱岐市周辺海域で事業を実施する際に想定する事業規模、内容、範囲等を把握する。
- 意見公開会を、協議会や各種検討、調整で明らかになった洋上風力発電に向けた課題や問題点を共有する場としても活用。

回数	開催時期	意見交換の内容
第1回	協議会(第1回)開催後	<ul style="list-style-type: none"><li>• 本事業の内容、今後の予定、第1回協議会での意見等の説明、報告</li><li>• 事務局の想定する導入可能性エリア(案)の位置、規模等に対する意見</li></ul>
第2回	協議会(第2回)開催前	<ul style="list-style-type: none"><li>• 第1回協議会並びに第1回意見交換会を踏まえた、事務局の想定する導入可能性エリア(案)の位置、規模等に対する意見</li></ul>
第3回	協議会(第3回)開催前	<ul style="list-style-type: none"><li>• 第2回協議会を踏まえた、事務局の想定する導入可能性エリア(案)の位置、規模等に対する意見</li><li>• 事業実施における地域貢献策、漁業協調等の可能性に対する意見</li></ul>

## ⑤ 先進地視察会

【ご参加・ご協力いただきたい主体】 協議会構成員

【開催時期】 令和3年10月上旬

【趣旨・目的】

協議会での議論に必要な知識を習得するために協議会構成員に洋上風力発電の先進地を視察していただく（2～3日程度を想定）。

## ⑥ アンケート調査

【ご協力いただきたい主体】 地域住民

【調査時期】 令和3年9月下旬～10月中旬

【趣旨・目的】

アンケート調査を実施し、壱岐市民の洋上風力発電の実施の是非、地域貢献策として期待すること等を把握する。

対象	アンケートで把握したい内容	備考
壱岐市民	<ul style="list-style-type: none"><li>導入可能性エリアでの洋上風力発電事業の実施の是非</li><li>地域貢献策として期待すること等</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>壱岐市民（年齢別に無作為抽出）を対象に1,000通程度のアンケートを配布。</li><li>アンケートはWeb回答も可能。</li></ul>

## ⑦ 景観の現地視察会

### 【ご参加いただきたい主体】

地域住民等

### 【開催時期】

令和3年10月中旬

### 【趣旨・目的】

- 実際の眺望点にて、洋上風力発電施設が建設された際に景観がどのように変わるのかを確認する（現地視察会）。
- 現地視察会の結果をもとに、地域住民や関係者と許容可能な景観の改変の程度を検討する。
- 現地視察会では、タブレットやスマートフォンなどのディスプレイに、実際の風景に仮想の風車を同時に映し出すことで景観の変化を確認いただく（AR技術の活用）。



AR技術を用いた現地視察会のイメージ

### 【AR技術を用いた景観検討】

AR (Augmented Reality : 拡張現実) とは、実在する風景にバーチャルの視覚情報を重ねて表示すること。一般的な景観検討の手法であるフォトモンタージュ法と比較して、AR技術を用いた手法の場合、現場で視点を変えることにより、どの場所からでも影響を判断することが可能となる。

### 【フォトモンタージュ法】

実際の景観写真に、風車等の構造物のイメージを合成する技法。景観の改変を簡易に表現できる反面、写真を撮影した視点からの景観の改変しか把握できない。